

「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録を目指して

19世紀、日本は、鉄鋼業、造船業、石炭鉱業などを主力産業として非西洋地域で初めて、それも極めて短期間に飛躍的な近代化を成し遂げました。九州・山口は、その原動力となった地域であり、特に薩摩藩主島津斉彬しまづなりあきむらによって鹿児島市磯地区に形成された日本最初の工場群である集成館で培われた技術は、その後の日本の近代化に大きく貢献しました。

今回の特集では、2009年1月にユネスコの世界遺産暫定一覧表(暫定リスト)に記載され、世界文化遺産への登録を目指している「九州・山口の近代化産業遺産群」について紹介します。



「九州・山口の近代化産業遺産群」とは？

19世紀後半、植民地政策を進める欧米列強の進出を警戒した日本は、先に近代化を成し遂げた西欧の科学技術を導入して、軍備の近代化を図るようになりました。これが、日本の近代化・工業化の始まりです。特に九州・山口は、日本の近代化の原動力となった地域で、今でも関連する遺産が数多く残されています。

この遺産群は、西洋から技術を取り入れた地域の中でも在来の技術と融合させて独自の技術を作り上げたという、他に例を見ない発展のプロセスを証明する資産群です。後に日本を世界的な経済大国に押し上げる実質的な原動力となった技術発展の歴史を語り継いでいく上で、極めて重要な文化遺産群として注目されています。

本県では、これらの資産群が所在する県や市と一体となり、後世に残していくべき遺産として、世界文化遺産への登録を目指しています。

※産業遺産…歴史的、技術的、社会的、建築学的、または科学的価値のある産業文化の遺物から成るもので、「インドの山岳鉄道群」や「ブレナボンの産業景観(イギリス)」などが世界遺産に登録されています。

※世界遺産暫定一覧表…世界遺産に登録されるためには、各国政府がユネスコの世界遺産センターに登録の申請を行う必要があります。ユネスコでは各国に対して、世界遺産登録を目指す国内物件をあらかじめリスト化しておくことを義務づけています。これが世界遺産暫定一覧表(暫定リスト)です。

構成資産候補の紹介

【エリアマップ】

九州・山口の近代化産業遺産群は、9エリア30資産で構成され、そのうち鹿児島県内では、幕末に薩摩藩が推進した近代化・工業化に関する遺産「旧集成館」、「旧集成館機械工場」、「旧鹿児島紡績所技師館」、「祇園之洲砲台跡」の4つが含まれています。

エリア①



- 1 萩反射炉
えびすがばな
- 2 恵美須ヶ鼻造船所跡
- 3 萩城下町
- 4 大板山たたら製鉄遺跡
しょうかそんじやく
- 5 松下村塾

エリア②



- 6 旧集成館 (含む山炭窯跡、関吉の疎水溝)
すみがま
- 7 旧集成館機械工場
- 8 旧鹿児島紡績所技師館
ぎおんのす
- 9 祇園之洲砲台跡

エリア③

- 10 三重津海軍所跡

エリア④



- 11 橋野高炉跡及び関連施設

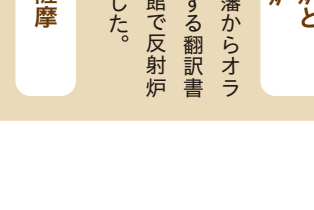
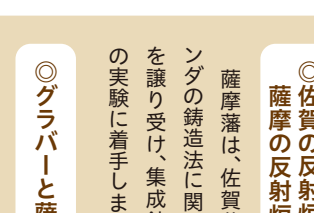
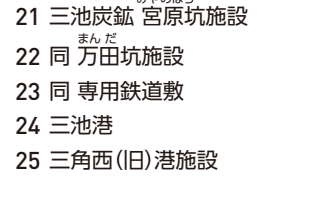
エリア⑤



- 12 長崎造船所 向島第三ドック
むこうしま
- 13 同 旧鋳物工場併設木型工場
きがた
- 14 同 ハンマーヘッド型起重機
- 15 同 占勝閣
せんしょうかく
- 16 同 小管修船場跡
こすげ
- 17 高島炭鉱跡
- 18 端島炭坑
はしま
- 19 旧グラバー住宅

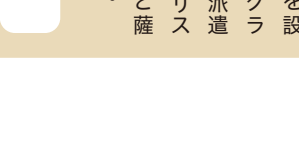
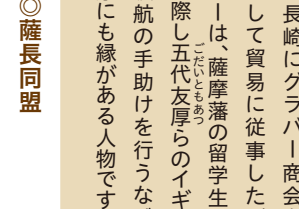
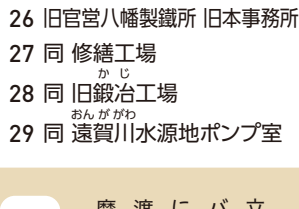


エリア⑦



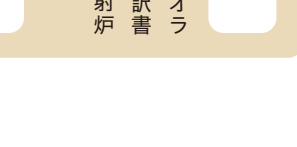
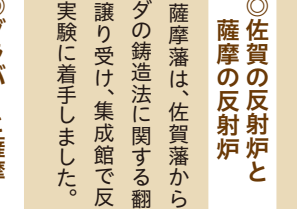
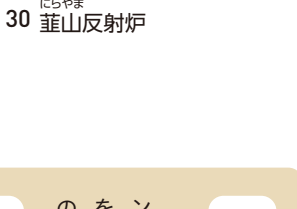
- 20 前田砲台跡
- 21 三池炭鉱 宮原坑施設
みやのほら
- 22 同 万田坑施設
まんた
- 23 同 専用鉄道敷
- 24 三池港
- 25 三角西 (旧) 港施設

エリア⑧



- 26 旧官営八幡製鐵所 日本事務所
- 27 同 修繕工場
- 28 同 旧鍛冶工場
かじ
- 29 同 遠賀川水源ポンプ室
おんががわ

エリア⑨



- 30 山梨山反射炉
にらやま



九州・山口の近代化産業遺産群と鹿児島県のつながり

1897 (明治30)年頃、三井三池炭鉱には、当時台風や干ばつで破壊的な打撃を受けた与論島から、大勢の方々が労働者として移住しました。当時の苦労がしのげられます。

◎三池炭鉱と与論移住者

1864 (元治元)年の下関戦争では、イギリスなどの四国連合艦隊に前田砲台も占領され長州藩は完敗しました。その後、外国との軍事力の差を痛感した長州藩は薩摩藩と薩長同盟を結び、明治維新の大きな原動力となりました。

◎薩長同盟

長崎にグラバー商会を設立して貿易に従事したグラバーは、薩摩藩の留学生派遣に際し五代友厚らのイギリス渡航の手助けを行うなど薩摩にも縁がある人物です。

◎グラバーと薩摩

薩摩藩は、佐賀藩からオランダの鑄造法に関する翻訳書を譲り受け、集成館で反射炉の実験に着手しました。

◎佐賀の反射炉と薩摩の反射炉

さかきばら けいこ
◎観光ボランティアガイド…… 榊原 恵子さん



旧集成館事業をはじめとした近代化遺産について知らない方も多いと思いますが、日本の歴史を動かした遺産がこんなに身近に残されている場所はあまりないので、まち歩きを通して歴史的な出来事や史跡の価値を知ってもらいたいです。

鹿児島まち歩き観光ステーション
【開所時間】午前9時～午後5時30分
【電話】099(208)4701

歩いてみよう！
観光ボランティアガイドの案内で、鹿児島市内の名所・旧跡などを巡る「鹿児島ぶらりまち歩き」。「世界遺産暫定リスト入り！篤姫養父・島津斉彬の近代化遺産を歩く」コースは、世界遺産候補に登録された4つの遺産のうち、「旧集成館」「旧集成館機械工場」「旧鹿児島紡績所技師館」の3つを含む磯地区を中心とした斉彬ゆかりの近代化遺産を巡ることが出来ます。

※左ページでモデルコースとして紹介しています。



▲武雄鍋島家資料「薩州見取絵図」に描かれた旧集成館。
1857(安政4)年、薩摩藩に派遣された佐賀藩士が視察した様子を
描いた絵図 【武雄鍋島家資料 武雄市蔵】

1852(嘉永5)年、鹿児島市磯地区の一角に薩摩藩主島津斉彬が築いた日本初の近代的な工場群。西欧列強による植民地化を避け、日本が自立した国家を営み続けていくために、さまざまな産業を興し、外国と対等に貿易して日本を強く豊かにする必要性を感じていた斉彬は、富国強兵・殖産興業政策に努め、造砲や造船のほか、紡績、ガラス製造、印刷、電信、医薬、ガス、福祉など多岐にわたる事業を展開しました。

最盛期には、1200人あまりが働いていたと言われています。

旧集成館



砲台が建設された頃の祇園之洲の様子 【尚古集成館蔵】



現在の祇園之洲砲台跡の様子

1853(嘉永6)年に斉彬が築いた砲台の跡。薩英戦争時の一番の激戦地と言われ、3時間にわたる砲撃で砲台はことごとく破壊されました。薩英戦争後再建されましたが、現在は砲台の前の石垣だけが残っています。

祇園之洲砲台跡

1865(慶応元)年に竣工した機械工場で、現存する日本最古の洋風工場建築物。鹿児島で使い慣れた溶結凝灰岩で建てられており、完成当初から「ストーンホーム」と呼ばれていました。小屋組などの構造は洋風を基本としています。和風建築の太い梁があり、西欧の文献をもとに日本人技術者が建設したと言われています。



旧集成館機械工場(現尚古集成館)



造船所跡

船の研究と開発が行われ、1854
いゝはまる
(嘉永7)年には、「伊呂波丸」と名付
けられた日本最初の洋式帆船が完
成しました。



鹿児島紡績所跡

現 鶴嶺神社付近には、溶鉱炉があったと考えられています。



尚古集成館

薩摩切子工場

磯くわはら館

旧鹿児島紡績所 技師館(異人館)

←カゴシマシティビューのルート

磯名物 ぢゃんぼ餅のお店が並んでいます。
桜島もきれいに眺めることができる道です。

磯地区 まち歩きマップ



◎モデルコース(約1.2Km)

仙巖園入口前	←	1 尚古集成館 (旧集成館機械工場)	←	2 薩摩切子工場	←	3 旧鹿児島紡績所技師館(異人館)	←	4 造船所跡	←	5 鹿児島紡績所跡	←	仙巖園入口前
Start!												Goal!



▲明治5年の磯地区の様子。手前に写る2階建ての建物が、旧鹿児島紡績所技師館、中央付近に写る建物が鹿児島紡績所。 【尚古集成館蔵】



旧鹿児島紡績所技師館(異人館)
1867(慶応3)年に操業を開始した鹿児島紡績所は、斉彬の遺志を引き継いだ島津忠義が建設した日本初の洋式機械紡績工場です。技師館は、鹿児島紡績所において技術指導に当たったイギリス人技師の住居として建設されました。外観は洋風ですが、屋根裏の小屋根などは和小屋という和洋折衷の建物です。

ちょっと足を延ばして...



集成館の水車を稼働させるため、稲荷川上流から8kmにわたって流れていた疎水の関吉取水口



集成館事業の燃料として木炭を製造するために建設された寺山炭窯跡

◎リニューアルオープン (平成23年10月)



耐震補強し、展示を一新して一般公開されました。リニューアルにあわせて、イギリス人技師たちが生活していた応接室や寝室を体感するスペースや異人館の変遷や和洋折衷の建築構造などを紹介した展示スペースなどが設けられています。